

政府の方針

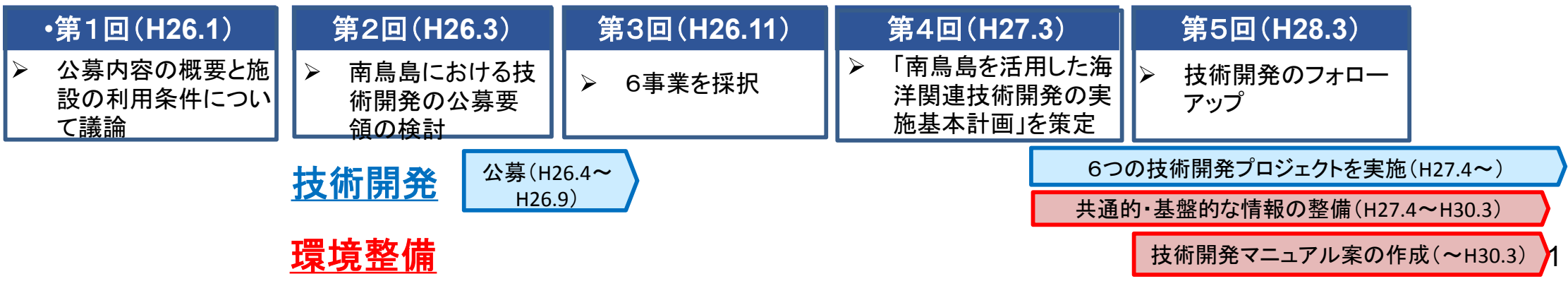
- 低潮線保全基本計画(H22年7月閣議決定):
「特定離島(南鳥島、沖ノ鳥島)を拠点とした様々な分野における新しい構想に基づいた活動についても、政府が支援し、推進すべき重要な施策の一つとして位置づける。」
 - <特定離島を拠点とした活動の目標>
「サンゴ増殖技術の開発・確立による国土保全」、「自然環境をいかした新素材の開発」、「海洋鉱物資源開発の推進」、「海洋再生エネルギー技術の実用化に向けた取組」等
- 海洋基本計画(H30年5月閣議決定):
「特定離島(沖ノ鳥島及び南鳥島)において、特定離島港湾施設の整備を推進するとともに、国による港湾の管理を実施し、その利活用を図る。」



南鳥島における海洋関連技術開発の推進

- 南鳥島の特性を活かして現地実証を行うことを希望する民間、大学等を対象に技術開発課題を公募
(必要経費は自己負担。国は、「場の提供」等の支援)
- 技術開発課題の公正な審査・選定、技術開発の推進方策の検討等のため、有識者による委員会を設置
- 国土交通省において同島における技術開発の促進に有用な共通的・基盤的な情報(南鳥島周辺の水深、波浪、潮流のデータ)を整備
- 海洋関連技術開発の実施者に向けて、南鳥島で技術開発を行うに際して必要不可欠な情報等を整理(技術開発マニュアル(案)の作成)

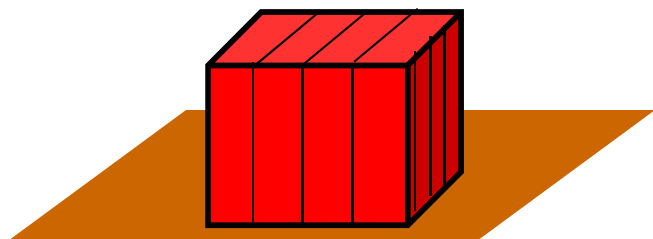
◆これまでの経緯



1. 海洋開発に資する設備・機器の技術開発

●軽量コンテナの開発

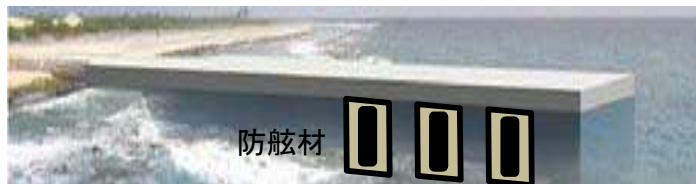
遠隔離島で物資を効率的に輸送するため、小型の荷役機械に対応した、マグネシウム合金材の軽量コンテナの開発(不二ライトメタル(株))



現地での耐久性試験

●船舶接岸・物資揚重支援技術の開発

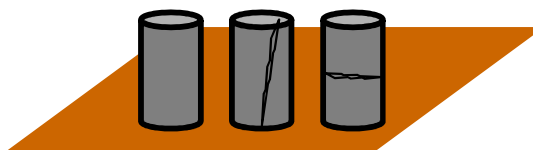
遠隔離島での荷役作業の安全性及び効率性の向上を目指した、防舷材、渡り栈橋、自動玉掛け装置の技術開発(東洋建設(株))



2. 海洋構造物に関する建設材料の技術開発

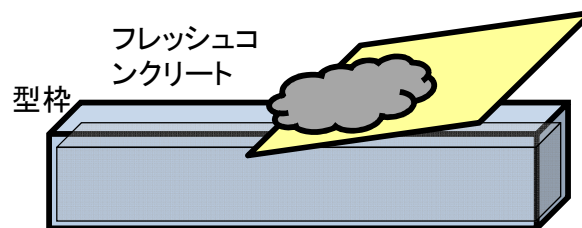
●コンクリート材料の耐久試験及び製造技術の開発

(1) 材料運搬に多量のCO2排出を伴う遠隔離島での施工に資する、海水、海砂を使用したコンクリート材料の技術開発((株)大林組)



長期耐久性試験供試体

(2) 真水や骨材など主要な材料の調達や作業員の確保が困難な遠隔離島における、コンクリートの材料及び製造の技術開発(早稲田大学)



現地でのコンクリート充填試験

3. 海洋構造物に関する防食技術の開発

●鋼構造の防食技術の開発

激波浪かつ気温が高い海洋環境下においても十分に性能を発揮する、鋼構造の防食技術の開発(東亜建設工業(株))



4. 海洋環境の保全に関連する技術開発

●サンゴ礁の保全技術の開発

サンゴ礁生態系を活用した遠隔離島の保全のための技術開発(東京大学)

